

ランチョンセミナー15のご案内

演題

動脈硬化症発症予防、
重症化予防のための食事摂取基準と
セルフケア推進をめざした方策

座長

吉田 博 先生 (東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座
東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部)

演者

多田 紀夫 先生 (柏市医療公社老人保健施設はみんぐ)

日時

2016年7月15日(金) 12時15分～13時05分

会場

第7会場
(京王プラザホテル 本館 42F 高尾)



ランチョンセミナーは整理券制になります。
配布場所:京王プラザホテル 本館4F「花」前
配布日時:2016年7月15日(金) 7:45～(なくなり次第終了)
*整理券はセミナー開始5分後に無効となります。

演題 ▶ 動脈硬化症発症予防、重症化予防のための 食事摂取基準とセルフケア推進をめざした方策

座長 ▶ 吉田 博 先生（東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座
東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部）

演者 ▶ 多田 紀夫 先生（柏市医療公社老人保健施設はみんぐ）

要旨 ▶ 私の脂質代謝との縁はヒトリンパ球にトリチウム標識した酢酸を与えてコレステロールを作らせ、細胞内コレステロール生成の制御機構と食事の関係をみることに始まります。毎週でとくる成績の解析から、細胞内コレステロール生成に一定の傾向を見出そうと飽きずに頑張り、忍耐だけは養われました。この仕事でメルボルン、ベーカー医学研究所留学が決まりました。

ベーカー医学研究所での仕事は3つ。アポA1 turnover studyの結果、アルコール性肝炎患者の低HDL-C血症の原因にアポA1の異化亢進があること、同疾患では円盤状のアポErich HDLの割合が増加すること、健常者でもアフィニティカラムを用いてVLDLを2分画することが可能で、アポErich VLDLは細胞親和性が高いことを証明しました。健常者血清からのレムナトリポ蛋白粒子の分離に成功したわけです。

これが帰国後のRPLC開発に繋がりました。また、アフィニティカラムを用いてHDL-A1に抗菌活性があることも証明しました。アフィニティカラムの手法はイオン交換カラムを利用したHPLC法によるリポ蛋白分画法の保健取組としても結花しました。カイロミクロン、VLDL、IDL、LDL、HDLのコレステロールが一挙に分画測定できるのはこの方法しかないと自負しています。

こうした中、「日本人の食事摂取基準2015年版」策定にも関わるチャンスを得ました。そして、「柏市地域栄養相談システム」の立ち上げに関与し、多くの患者さんに栄養指導できるシステムを構築しました。現在、地区薬局の参画を仰ぎ、住民にとって有用かつ安全な「セルフケア」が拡充できる方策を考えております。この機会に、地域社会の中での食事の重要性をお話します。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

東京本社 ☎(03)5427-5181

名古屋支店 ☎(052)211-5730

仙台支店 ☎(022)266-2341

ホームページ <http://www.diagnostics.jp.tosohbioscience.com/>

大阪支店 ☎(06)6209-1948

福岡支店 ☎(092)781-0481

山口営業所 ☎(0834)63-9888